

令和4年6月16日	
資料提供	
担当課	県立自然博物館
担当者	学芸員 國島
電話	073-483-1777

特別展

海水と淡水の交わるところ ～汽水にくらす魚たち～

1 趣 旨

海の水と川の水が出会うところを汽水域といい、そこではさまざまな種類の魚がみられます。この展示では、汽水にくらす魚の種類や生態について紹介します。



和歌浦干潟

2 内 容

ア) 展示点数 水槽展示8点、魚類の標本100点

イ) 展示構成

- 1章 汽水ってこんなところ～海の水と川の水、2つが交わると・・・？～
汽水ができる仕組みについて写真や実験水槽を用いて解説します。
- 2章 汽水域にくらす魚類～どのような魚がみられるの？～
汽水域でみられる魚類の特徴について標本や写真を中心に解説します。
- 3章 海水魚にとっての汽水環境～海にいる魚にとっても汽水域は大切？～
汽水域が海水魚にとってどのような役割をもつか調査した結果を元に解説します。
- 4章 汽水域でみられる多様な環境～いろんな汽水域をのぞいてみよう～
干潟や湖など汽水域の環境とそこにくらす魚について生体展示を中心に紹介します。
- 5章 人と汽水域の関わり～汽水域と付き合っていくためには～
漁具や標本の展示をもとに汽水域での漁業や環境問題について解説します。

3 開催期間 令和4年7月16日(土)～9月4日(日)

4 場 所 和歌山県立自然博物館 レクチャールーム

5 その他 関連行事についてご案内します。

● 干潟の生物観察会

日時 令和4年7月30日(土) 10:00～13:00

場所 内之浦干潟親水公園(田辺市新庄町) 定員 20名

● 講演会「汽水の魚のおはなし」

日時 令和4年8月9日(火) 17:00～18:00

場所 自然博物館大水槽前 定員 30名(要電話申込)

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1

和歌山県立自然博物館



TEL:073-483-1777

FAX:073-483-2721

<https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp/>

mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp

海水と淡水の交わる場所

～汽水にくらす魚たち～

開催期間 **2022年7月16日(土)～9月4日(日)**

自然博物館レクチャールーム

どんな魚に
会えるかな？

海と川の交わる場所を汽水域といいます。

汽水域には体の大きさもグループも様々な魚類が生息しており、

私たち人類にもたくさんの自然の恵みをもたらしてきました。

今回の特別展では、そんな汽水域の大切さと面白さをみなさんにお伝えします。

那智勝浦町二河川河口

5つのテーマに注目!

特別コーナーは必見!

講演会

- 1 汽水域ってこんなところ
- 2 汽水域にくらす魚類のひみつ
- 3 海水魚にとっての汽水環境
- 4 汽水域でみられる多様な環境
- 5 人と汽水域の関わり

- 1 ゆらゆら水槽を観察してみよう!
- 2 干潟にくらすハゼたちの巣穴を観察してみよう!
- 3 川をのぼるサメ! その正体は!?
- 4 洞窟にも汽水域? 洞窟性魚類の展示に挑戦!

汽水の魚のおはなし

2022年8月9日(火) 17:00～18:00

亜熱帯の汽水域でみられる魚や、汽水域にくらす魚の保全について、わかりやすく紹介します。

講師 立原一憲氏(琉球大学理学部教授)
乾 隆 帝 氏(福岡工業大学社会環境学部教授)

申込: 電話受付(先着30名) ※詳しくはHPで

わかやまのしぜんを学ぶ <https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp>

和歌山県立自然博物館



〒642-0001 和歌山県海南市船尾370番地の1

入館料/大人**480円**(20人以上団体割引)・65歳以上無料・高校生以下無料

■お問い合わせ/TEL.073-483-1777 FAX.073-483-2721

●開館時間/9:30～17:00(入館は16:30まで)

●休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)・年末年始(12月29日～1月3日)



●JR和歌山駅・南海和歌山市駅から海南方面行きバス(約30分)琴の浦下車すぐ。
●JR海南駅から和歌山市方面行きバス(約10分)琴の浦下車すぐ。
●車では、和歌山市から国道42号線毛見トンネルを越え、右折。阪和自動車道 海南インターから和歌山市方面へ(約10分)。(無料駐車場あり)

テッポウウオ



てっぽう
鉄砲のように口から水を飛ばして昆虫をうち落とすことで有名な魚です。海域から淡水域に生息し、体長30センチほどになります。日本では、いりおもて いしがき 西表島と石垣島のみで記録されています。

アカエイ



体がじゅうたんのようにはらべたいエイの仲間。浅場にくらし、しばしば汽水域にも侵入してきます。アサリなどの二枚貝を食べます。尾には毒のあるトゲをもちます。

出張版

汽水にくらす お魚図鑑

本特別展で出会える魚たちをちょっとだけ紹介します。会場ではもっと多くの魚たちが皆さんをお待ちしています！
特別展の解説書に、和歌山で見られる汽水のお魚図鑑が収録されています。



ヒラスズキ

成魚は主に波当たりの強い磯でくらし、稚魚期は海草藻場や汽水域で過ごします。肉食性が強く、小型魚類や甲殻類を食べます。釣りのターゲットとしても人気が高い魚です。

????ザメ



亜熱帯域ではサメの仲間も汽水域に侵入してきます。特別展では、実際に沖縄島の汽水域で釣りあげたサメの標本を展示します。どのようなサメが川へ入ってくるのか、自然博物館へ見にいこう！

特別展の情報は当館SNSでもチェックできます！
ハッシュタグ「#汽水のおさかな展」で検索してね!!



Facebook



Instagram



Twitter

